

令和6年4月1日

CO2 排出量可視化サービス「e-dash」と九州ひぜん信用金庫が業務提携

～九州ひぜん信用金庫の取引先企業の CO2 排出量可視化・削減を支援～

九州ひぜん信用金庫（本店：佐賀県武雄市、会長：溝上邦治、理事長：石橋正広）は、CO2 排出量可視化のクラウドサービス「e-dash」を提供する e-dash 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山崎冬馬、読み：イーダッシュ）と業務提携し、取引先企業の脱炭素への取り組みをともに支援することを発表します。

**【本提携内容】**

2050 年のカーボンニュートラル達成に向けた動きが本格化している昨今、あらゆる企業にとって CO2 排出量の情報開示や削減が経営上の重要テーマのひとつとなっています。この流れは、プライム上場企業の TCFD 対応や、自動車産業を筆頭としたサプライチェーン上での排出量情報の開示要請などという形で活発化しています。特に後者においては、業種や企業規模を問わない潮流となりつつあり、自社の排出量を把握し情報提出が求められる事例が中小企業含め増加傾向にあります。

「e-dash」は、CO2 排出量削減への取り組みを総合的にサポートする三井物産発のサービスプラットフォームです。

脱炭素の第一歩である CO2 排出量の可視化については、電気やガス等のエネルギーの請求書をアップロードするだけで、事業を通じた CO2 排出量（Scope 1・2）を自動で簡単に算出するなど、計算の手間を削減しながら正確なデータを蓄積できる仕組みを提供しています。サプライチェーン排出量（Scope 3）についても、ソフトウェア上で手軽に算出・可視化が可能です。

「e-dash」での CO2 排出量の算出については、大手監査法人による第三者検証を実施し、日本政府が策定した算定ガイドラインに基づいた正確な算定方法でご提供しています。

さらに、CO2 排出量の可視化に留まらず、三井物産のネットワークも活用しながら、CO2 排出量削減の各種施策の実行を支援します。

【e-dash 株式会社 会社概要】

設立：2022 年 2 月 7 日

株主：三井物産、みずほイノベーション・フロンティア株式会社（株式会社みずほフィナンシャルグループの 100%子会社）

コーポレートサイト：<https://corp.e-dash.io/>

所在地：〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-2-1

事業内容：CO2 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発・運営

以上

KYUSYU HIZEN SHINKIN BANK